

令和元年度事務事業実績評価表

1 事業概要

		課名	農業課	事業No.	170
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始	H29	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画				
	分野別計画			地域経済活性化プログラム	
				農業振興ビジョン	
	法令・例規等				
事業目的	対象	農村女性、保育所園児、小中学校児童・生徒、中山間地域の農家、体験農園施設			
	意図	リーダーの育成、地域農業の課題解決、遊休農地の活用、食農教育による啓発、都市住民との交流促進			

2 事業内容

1年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)		
	飯田下伊那地域の行事食、郷土食を実践する食ごよみ実践講座は、27名の受講があり、年間をとおして8回の講座を行いました。農村女性2団体の研修会では、会員間の交流促進、地元食材を活用した調理講習等の食育活動を支援しました。千代よこね田んぼの関係団体と、棚田地域振興法の活用に向けた検討を始めました。上村地区の体験農園施設及び農産物加工施設の管理を適正に行いました。関係人口の増加に向け、地元と協働で体験農園施設のお試し住宅を実施しました。下栗地区で取り組まれている耕作支援活動（地域外の応援ボランティア13グループ参加）に対し負担金を支出し、交流と農地維持・保全活動を支援しました。		食ごよみ実践講座運営費					96	
			中山間地域振興プロジェクト事業					600	
			上村体験農園施設管理費					1,209	
					その他の経費				0
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	女性リーダー育成講座受講者数	人	45	30	45	28	28	27	
	下栗応援団による遊休農地耕作支援面積	a	50	50	50	50	50	50	
	体験農園施設通年契約者数	人	3	2	3	2	3	3	
	体験農園施設お試し利用件数	件	-	-	-	4	45	22	
1年度決算(千円)	予算額	4,479	特定財源内訳及び補足事項						
	決算額	1,905	(県)農村活力創出支援事業交付金(定額)						
	財源の状況	国庫支出金	0	(そ)上村体験農園施設使用料 945千円					
		県支出金	53	(そ)上村体験農園施設雑入 94千円					
		地方債	0	1→2 繰越明許費 2,500千円					
		その他	1,039						
一般財源	813								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	6	1	3	32	1	600	600	中山間地域振興プロジェクト事業費
2	1	6	1	3	33	1	108	96	元気な農村づくり推進事業費
3	1	6	1	10	10	3	1,271	1,209	上村農業施設管理費
4	1	6	1	3	32	2	2,500	0	棚田地域振興事業費
5									
6									
7									
振り返り課題認識		農村女性団体では会員の高齢化が進んでいることから、農産物の加工、食文化の伝承やグリーンツーリズムの推進役となるリーダーの育成が必要です。棚田地域振興法の制定を受けて、棚田を活用して地域の活性化につなげていく必要があります。体験農園施設は、設備の老朽化や継続利用者の高齢化による退去により、修繕や活用を進める必要があります。							
上記の課題解決のための有効策		農村女性団体の活動を活性化させていくため、今後の活動の方向性、支援のあり方を検討していく必要があります。指定棚田地域振興活動計画を策定して、地域と連携して活動を進める必要があります。体験農園施設は必要な修繕を行うとともに、利用者を誘致するためのPRを行う必要があります。							
次年度に向けての取り組み		地域内の農村女性団体等の活動を支援する県・JAの事務局と課題を共有し、活動の方向性、支援のあり方等を検討します。国の交付金を活用して棚田を活用した取組の調査・検討を進めるとともに、指定棚田地域振興活動計画を策定します。体験農園施設の屋根葺き替え工事を実施します。また、お試し住宅の運営、PRを行い利用者の誘致に取り組みます。							